

令和5年度 学校関係者評価委員会における委員の意見及び本校の認識・対応方針

評価項目	委員の意見	本校の認識・対応方針
2 学校運営	<p>【神谷委員】</p> <p>資料2-2の項目1「国際園芸アカデミー運営計画」の概要について、3つのポリシー（DP,CP,AP）とSDGs推進の基本方針は同格ではなく、SDGsは、3つのポリシーの基で教育活動を行っていく上で、どのような特色を持った教育をするかということだと思われる。3つのポリシーとSDGsを並列しない方がよいのではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスにおいて、関連するSDGsを明確に示し、特長ある授業を行っています。 ・ご指摘の通り3つのポリシーとSDGs推進の基本方針は同格のものではないため、記載の仕方を見直します。
3 教育活動	<p>【神谷委員】</p> <p>評価項目の42、44について、授業評価アンケートを行っており、結果も良好であるが、エビデンスとして他のものもあっていいと思う。例えば公開授業や教員の相互参観、意見箱、卒業後アンケート等、評価・測定方法を増やすと良い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も、ZOOMを活用して他の教員の授業を互いに参観できる取り組みや、卒業生アンケートで今の仕事に役立っている科目や学び直したい科目等の意見を取り入れ、授業を改善する取り組みを行っています。 ・卒業生アンケートに加え、令和4年度から卒業時アンケートを実施し、習熟状況等も確認し始めたところです。卒業時アンケート、卒業生アンケートを引き続き実施し、カリキュラム及び授業科目改善に反映していきます。 ・令和5年度授業評価アンケートについて、授業の到達目標に対してどこまで到達できたか自己評価するアンケート内容に変更します。教員による学生の到達度評価と、学生の自己評価との乖離を見ながら、授業を改善していきます。
	<p>【大塚委員】</p> <p>農業高校生が「花と緑の連携授業」で専門的な知識や技術を学び、教員にとっても新たな視点が得られ勉強になる機会であるため、引き続きご協力いただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度、県内4つの農業高校に対して9回「花と緑の連携授業」を実施しました。 ・今後も農業高校の要望を踏まえ、より授業内容を充実させ継続していきます。
4 学修成果・教育成果	<p>【大橋委員】</p> <p>評価値3の項目がやや多く見られるが、評価の理由と課題解決のために、今後どのような取組みを強化するのか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に制定したアセスメント・ポリシーに基づき、学修成果について、点検・評価し、必要な改善を実施することにより、教育の向上と活性化を進めていきます。

評価項目	委員の意見	本校の認識・対応方針
4 学修成果・教育成果	<p>【松尾委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際園芸アカデミーがどんな人材を育てたかということで毎年評価している。 ・20名の卒業生のうち岐阜県内に就職したのは6名ということで、企業側としても、岐阜県で働きたいと思ってもらえるような企業づくりに取り組まなければならないと感じている。 ・インターンシップでは、当方でも受け入れをしたが、学生にただ仕事体験をしてもらうのではなく、何を学びたいかを学生から聞くべきであった。事前に打ち合わせをしっかりと行い、お互い一歩進んだインターンシップにして、いい学生を育てていきたいと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マイスター科では、開学以来300名以上の花と緑の産業に貢献できる人材を育成してきました。 ・求人票の6～7割は県外企業であり、県外出身の学生はほとんどが地元や大都市に就職する傾向にあります。 ・ぎふ花と緑の振興コンソーシアムや連携協定を締結している自治体等と連携し、県内の企業を発掘し、マッチングに取り組んでいきます。
5 学生支援	<p>【神谷委員】</p> <p>学生生活に関する調査を実施してはどうかと思う。全国の大学で行われている学生生活満足度調査は、学生の生活実態が浮き彫りになってくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生数が少数であるため、教務課を相談窓口として日頃から学生の声に耳を傾けるとともに、体調不良時のケアやハザードマップの提供など、様々な学生生活に関するサポートを行っています。 ・個別相談会やスクールカウンセラーによる相談を行っており、学生の様々な悩みに対応した取り組みを継続します。 ・意見箱を設置し、いつでも学生からの意見を聞ける取り組みを行います。
6 教育環境	<p>【大塚委員】</p> <p>入学生について、高校新卒者と既卒者の割合はどれくらいなのかお聞きしたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度入学した22名のうち、1名が既卒、21名は新卒者です。過去数年をみても、毎年1～2名の既卒者がいる状況です。
6 教育環境	<p>【大橋委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・評価値3の項目がやや多く見られるが、評価の理由と課題解決のために、今後どのような取組みを強化するのか教えていただきたい。 ・ぎふワールド・ローズガーデンを教育フィールドとして活用するため、座学、販売展示ができる施設整備を令和5年度に実施するので、施設等の有効活用をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備については、開学から19年が経過し、修繕が必要であるため、計画的に改修や更新を行っています。 ・ぎふワールド・ローズガーデン環境整備後について、教務委員会を中心に令和6年度からのカリキュラム検討を行い、有効活用していきます。

評価項目	委員の意見	本校の認識・対応方針
10 社会貢献・地域貢献	<p>【大橋委員】</p> <p>138「地域の企業、業界団体、自治体等と連携した事業等を行っているか」について、自治体等との連携協定を締結され積極的に推進していると思うが、評価値を3とした理由と今後の推進方針について、教えていただきたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現在5つの自治体及び3つの企業と連携協定を締結しています。自治体や企業からは多種多様な要望があり、教員が授業時間以外の時間を活用し、対応しています。 ・市民講座への講師派遣、自治会や公共施設の花壇植栽指導等学校側が主体的に行う取り組みと、奨学金による支援や特別授業への講師派遣等自治体及び企業側が主体的に行う取り組みが、お互いにプラスとなるよう改善、継続していきます。
	<p>【小栗委員】</p> <p>生涯学習講座など他校よりやっていると。回数もかなり多く、夜間開催もあり、学校の教育資源を活かした社会貢献、地域貢献ができていると思うため、評価値は4でどうか。</p> <p>企業と業界団体連携については、今後も活動の場を広げ、飛躍されることを期待している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習講座については、令和4年度18回開催しており、社会貢献につながっているため評価値を3から4にします。 ・ボランティア活動も含めて、企業・自治体・業界団体と連携した活動にも積極的に参加し、今後も活動の場を広げていきます。
総合的な評価結果、全体を通して	<p>【加藤委員】</p> <p>評価項目の中で、国際交流について、一番評価値が低い。「岐阜県立国際園芸アカデミー」としているにもかかわらず、評価が低い。名称や方針が適しているのか見直すべきではないか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・名称については、上部会議の場で議論できればと考えています。 ・令和4年度策定した国際交流計画に基づき、海外の教育機関との相互交流や学習成果(英訳)の情報発信を行っていきます。 ・コロナ禍により中断していた海外視察研修再開に向けて、早期に計画及び準備を行っていきます。
	<p>【神谷委員】</p> <p>資料2-2(資料編)について、「項目〇〇」としてあるが、評価項目との関連性がないなら分かりづらいため、表記を変えるとよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度自己評価報告書は修正します。